

18年3月期上半期業績総括

SCSK株式会社 代表取締役 社長執行役員 谷原 徹

2017年10月30日

上半期業績



(単位:億円)

	16年4月 ~ 16年9月	17年4月 ~ 17年9月	増減額	増減率
売上高	1,574	1,634	+60	+3.8%
営業利益	147	132	△14	△9.8%
経常利益	157	142	△15	△9.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	132	120	<i>△12</i>	△9.4%

通期業績予想



子会社株式の譲渡に伴い、通期連結業績予想を修正

■ 修正前通期連結業績予想

(%表示は対前期増減率)

売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
億円	%	億円	%	億円	%	億円	%
3,400	3.2	360	6.8	370	2.4	245	△13.9



■ 修正後通期連結業績予想

([]内は修正額、%表示は対前期増減率)

親会	益	経常利	J益	営業利	高	売上
)	%	億円	%	億円	%	億円
[-	2.4	370 [修正無し]	6.8	360 [修正無し]	3.2	3,400 [修正無し]

中期経営計画



事業構造の転換(脱労働集約型ビジネス)・ ダイナミックな成長戦略の実行を図り、高収益成長を目指す

基本戦略

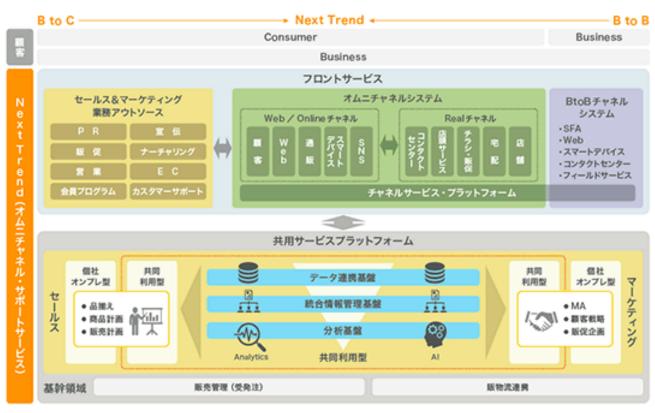
- 1. サービス提供型ビジネス へのシフト
- 2. 時代の変化を捉えた 戦略的事業の推進
- 3. グローバル展開 第2ステージ

経営基盤強化

- ① 業務品質の追求
- ② 事業収益力の強化
- ③ 業務効率の向上
- ④ 働きやすい 職場環境の醸成・健康経営
- ⑤ 人材育成



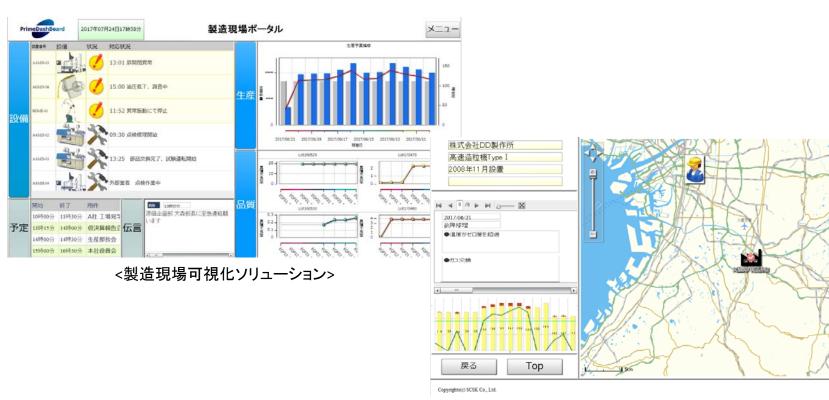
流通業向けオムニチャネル・サポートサービス「Next Trend」



<流通業向け「Next Trend」概念図>



製造業向けIoTソリューション「PrimeDashBoard」 - 現場を可視化して業務革新をサポート -



<設備・機器 保全保守ソリューション>



金融機関向けアプリ「MINEFOCUS」 - 顧客とのOne to Oneコミュニケーションを実現 -

MINIFOCUSの基本メニュー







アシスタント 前を応すべた。変折とアリノ を、後後節で りょ



銀行ポータル 宮計算アタリヤーション、各 地球側 口回開き 1885人間 よ 特別・電子ワマン









ユーリーの例述 かかかな変からのe in Cruの内容でお留け他国を自動化は、設定して確定的を変から発揮 組役した。ご 記を聞いてみたい と思った時間を込むするでは一個を には地震を開発的の概点とフルスニールに 確定に設定します













金融

- BankSavior
- MINEFOCUS
- FR2GO
- ■証券業務システム

■課金・顧客管理システム

通信

基幹系他

- ProActive
- FastAPP

コミュニケーション

- PrimeTiaas
- ■コンタクトセンター
- CELF

ITインフラ・運用

- **■**USiZE
- AMOサービス
- CarePlus

製造

共通基盤・サービス

業界特化

- ■デジタルマーケティング
- PrimeDashBoard

- ■オムニチャネル支援
- ECトータル アウトソーシング
- ■スマクラ
- **■** CHOIS

流通

Copyright © SCSK Corporation

戦略的事業の推進:AI事業



AI技術を活用したサービス提供体制の更なる強化

■ 株式会社Asian Frontierへ出資

AI活用事例は多数

- ■「DIMo(ダイモ)」を活用した保険損害調査の効率化
- ■AI対話型Webエージェント「Desse」
- 次世代型VOC活用サービス「VOiC」

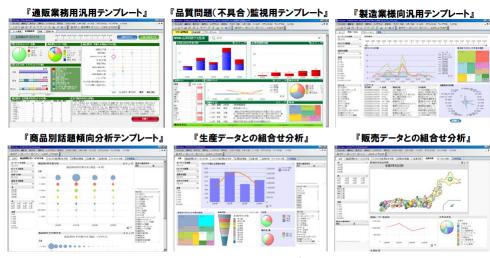
戦略的事業の推進:AI事業



AI技術を多様な技術・仕組みと組み合わせ、 広い視野でお客様の課題を解決



<Desse:画面イメージ>



<VOiC:分析テンプレート>

戦略的事業の推進:車載システム事業



SCSKの車載システム事業

- ①アプリ受託開発事業
- ②自社ソフトウェア開発・販売事業
 - ・ECU基盤ソフトウェア(QINeS-BSW)及び関連サービスを自社開発
 - ・顧客には、QINeS関連製品と、付随するSI(導入支援、アプリ開発)を提供



複雑化・大規模化する車載ソフトウェアを、品質を担保しながら生産性高く開発

日本の自動車業界のグローバル競争力強化に貢献



夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます。



く免責事項>

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、 当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようにお願い致します。
- ・本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。